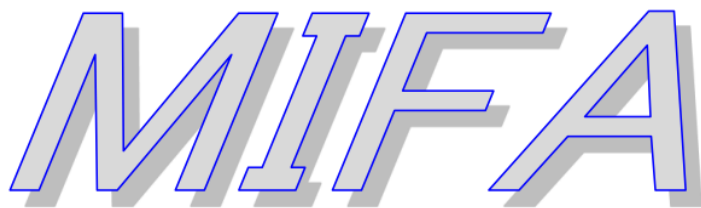


発行日：2022年12月18日

## 目次

MIFA は今	1
4年ルール 2年ルール 学習期間から20年3月～22年10月を除外	1
日本語学習アレコレ	2
「今、何を勉強したい？」相談しながら教案作り	2
日本語で日記を	3
お正月の思い出	4
合格おめでとうございます！	4
作文を募集しています	4
状況表	5
役員会便り	5
12月～3月の予定	6

ま い ふ あ



No.145 Dec2022,Jan/Feb2023  
まちだ地域国際交流協会  
Machida International  
Friendship Association  
ボランティア団体/会長 黄川田 南  
URL: <http://mifa-machida.info/>

## MIFA は今

ここ数年、コロナの影響により MIFA も活動を縮小してきましたが、社会活動の正常化を進める周囲の動向に合わせ、MIFA も今年 7 月に日本語教室を再開しました。それからもうすぐ半年になろうとしています。現在の MIFA の状況をお伝えします。

### 活気が戻ってきた日本語教室

7 月に再開した日本語教室は現在も日本語学習支援を続けています。学習中の学習者は 2022 年 12 月初旬に 56 名（対面学習 51 名、リモート学習 5 名）と、コロナ禍による第 1 回目の休止に入った 2020 年 2 月の 93 名の 6 割ほどですが、微増傾向にあります。またリモート学習から対面学習へと切り替えた人も増えてきました。教室の雰囲気も賑やかになってきました。とはいえ、コロナの第 8 波の感染拡大に加えインフルエンザとのダブル感染も懸念される現在、以前同様、マスク着用や手指消毒、検温、換気など感染防止策を続けながら活動しています。このような中、学習費の徴収を先月 11 月から再開しました。2020 年 2 月以来、32 ヶ月振りの学習費徴収になります。

### 来年度はスピーチ大会を計画

コロナ前は、スピーチ大会、遠足、新春の集いなどクラスの枠を超えたイベントを毎年開催していましたが、2020 年度以降これらのイベントをすべて中止してきました。また今年度の新春の集いもコロナ感染防止のため開催を見送ることにしました。一方、周囲に目を向けるとコロナで中止になっていたイベントが今年になって再開されるようになってきています。MIFA も少しずつコロナ前の状況に戻っていきます。来年度の早い時期にはスピーチ大会の開催を計画しています。また来年度は MIFA 創立 30 周年を迎えます。記念となるイベントの開催を検討中です。

## 4 年ルール 2 年ルール 学習期間から 20 年 3 月～22 年 10 月を除外

MIFA の日本語教室は、学習開始から終了までの学習期間を 4 年（4 年ルール<sup>※</sup>）、同じ支援者との学習期間を 2 年（2 年ルール）としています。この 2 つのルールの対象となる学習期間については日本語教室が通常状態ではなかったことを踏まえ、学習費徴収を停止していた 2020 年 3 月から 2022 年 10 月の 32 ヶ月間を学習期間から除外することにしました。例えば、2019 年 12 月初頭に学習を開始した学習者の場合、4 年ルール及び 2 年ルールの対象となる学習期間は 2022 年 12 月末時点で 5 ヶ月となります。

※ 4 年を超えて学習したい場合は再度申し込みが必要です。また 4 年ルールは 2019 年 12 月に開始したため、それより前の学習期間は対象になりません。2019 年 12 月以降の学習期間が 4 年になったときに学習終了となります。

## 日本語学習 アレコレ

げつよう  
月曜クラスのギリ・サンジャタさんは2018年にMIFAで  
にほんご がくしゅう はじ  
日本語の学習を始めました。その後、2019年に JLPT の  
ごうかく ねん ごうかく ねん ごうかく じゅんちょう  
N5合格、2020年に N4合格、2021年に N3合格と順調に  
にほんご じょうず にほんご  
日本語が上手になっています。ギリさんはMIFAの日本語  
きょうしつ べんきょう  
教室でどのように勉強しているのでしょうか。ギリさん  
にほんご しえんしゃ しもやま べんきょうほうほう か  
ご本人と支援者の下山さんに勉強方法について書いて  
いただきました。



ギリさん(左): 相撲や  
かぶき じょうもんとき  
歌舞伎、縄文土器などの  
にほん ぶんか きょうみ  
日本の文化にも興味があ  
ります。

しもやま みぎ ねん  
下山さん(右): 2007年  
MIFA入会。MIFAで支援  
にゆうかい しえん  
した学習者は40名程にの  
めいほど  
ぼる。町田国際交流センタ  
まちだこくさいこうりゅう  
ーでも日本語学習支援中

## 「今、何を勉強したい?」相談しながら教案作り

下山 健 (月曜クラス支援者)

支援者の皆さん、授業の為に準備する教案はどうされていますか。基本的には学習者のレベルを見て支援の手順を考えますが、私はギリさんを支援するに当たり少し教案作りを変えてみました。それはギリさんが勉強熱心であることに加え自宅学習用に独自の教材を使っていた事に着目、二人でその教材の中から「今日はこれを教材にしましょう」と決め、授業を進めた事が何回もありました。

そこで今までやってきたギリさんとの学習で特に記憶に残るテーマのいくつかを以下に述べてみたいと思います。

- (1) 日記を書いてもらって授業の始めに添削、修正をしたこと。  
「きれいな日本語を話したい」というギリさんの思いに応えるためです。  
日記を書くには、語彙、文法、助詞、漢字、時制などが動員されます。  
つまり「書く事は話す事」にもつながると考えたからです。
- (2) 漢字・言葉、例えば「私・新型コロナ・予防接種・副反応・感染」などを白板に表示してこれらをつないで一つの文章を完成する作業です。  
助詞などの誤用を修正できます。これも「考えて話す」力をつけるには有効です。
- (3) 音読み、訓読み等にも力を入れました。  
漢字、例えば「勉強」の音読みと同時に「勉」と「強」に分解して訓読みと、一字ずつその意味を同時に学習しました。
- (4) 「ら抜き」言葉についても学習しました。  
「ら抜き」は日本語の乱れの象徴とされるが、受け身や尊敬の「られる」と区別できる利点もあり着実に浸透している現状を説明しました。
- (5) 「早っ」「でかっ」「熱っ」などなどについて。  
語幹で驚くこの使い方、学習者自身積極的に使わないまでも聞き慣れていることも大切であることを説明しました。

皆さんの平常授業と重なる部分も多々あったかと思いますが、以上ざっと思い出すままに書いてみました。字数の制約もありこの辺で終わりにします。

# にほんご にっき 日本語で日記を

ギリ・サンジャタ (インド・月曜クラス<sup>げつよう</sup>学習者<sup>がくしゅうしゃ</sup>)

私は 2018 年に日本に来て今 4 年になりました。現在、夫と一緒に相模原に住んでいます。日本に来て直ぐ主人が MIFA を紹介してくれました。その時 MIFA の日本語教室の最初の先生が下山先生でした。先生の授業は面白くて、厳しくてとても良く理解できました。先生は時々「ギリさん、今日は何を勉強しましょうか」と言ったので私は家で使っている教材を見せて二人で相談して其の日のテーマを決めたこともありました。先生が何時も私に強く言っていたことは「ギリさん、きれいな日本語が話せるように一生懸命に勉強しましょう」と言うことでした。それで今でも良く覚えているテーマは日記を書くことでした。私は良く意味が分かりませんでした。でも日記を書いた時、「書くことは話すこと」と同じだと思いました。それは日記を書くとき漢字、文法、語彙、助詞など全て使うからです。今、私は JLPT N2 にチャレンジしようと思っています。N2 以上は今までよりも話す力、聞く力、漢字などがとても難しくなると思っています。今の私の日常生活では日本語を沢山話すことがあまりありません。ですから日本語教室の時に先生と一緒にできるだけ沢山話すようにしています。これからも日本語の勉強と日本の事そして古い日本の文化なども勉強したいと思っています。私は日本が大好きです。

わたしは 2018 年に日本に来て今 4 年になりました。現在、夫と一緒に相模原に住んでいます。日本に来て直ぐ主人が MIFA を紹介してくれました。その時 MIFA の日本語教室の最初の先生が下山先生でした。先生の授業は面白くて、厳しくてとても良く理解できました。先生は時々「ギリさん、今日は何を勉強しましょうか」と言ったので私は家で使っている教材を見せて二人で相談して其の日のテーマを決めたこともありました。先生が何時も私に強く言っていたことは「ギリさん、きれいな日本語が話せるように一生懸命に勉強しましょう」と言うことでした。それで今でも良く覚えているテーマは日記を書くことでした。私は良く意味が分かりませんでした。でも日記を書いた時、「書くことは話すこと」と同じだと思いました。それは日記を書くとき漢字、文法、語彙、助詞など全て使うからです。今、私は JLPT N2 にチャレンジしようと思っています。N2 以上は今までよりも話す力、聞く力、漢字などがとても難しくなると思っています。今の私の日常生活では日本語を沢山話すことがあまりありません。ですから日本語教室の時に先生と一緒にできるだけ沢山日本語を話すようにしています。これからも日本語の勉強と日本の事そして古い日本の文化なども勉強したいと思っています。私は日本が大好きです。

## しょうがつ おも で お正月の思い出

いけだ ほるみ (どようA クラス しえんしゃ)  
池田 晴美 (土曜A クラス支援者)

しょうがつ おも だ いちばんふる きおく にほん せんそうちゆう ねん あさはや お まくらもと あたら したぎ  
お正月で思い出される一番古い記憶は、日本が戦争中の1945年。朝早く起こされ、枕元の新しい下着  
ふく きが つめたい くうき なか さいうえ あに さい わたし はな じんじゃ ほつもうで い  
や服に着替えて、冷たい空気の中、2歳上の兄と7歳の私だけでかなり離れたところの神社に初詣に行っ  
たことです。帰ってきて食べたはずのお雑煮のことは覚えていません。その年の8月、日本は敗戦を迎えま  
した。その後の数年はお正月どころか普段の食事のままならない状態が続いたような気がします。

にほん ふっこうにつれ、いぜんのようなお正月風景が戻ってきました。テレビもゲームもない時代で、すごろ  
く、カルタ取り、トランプで遊び、あそ こがい ほねつき たこあ きんじよ ともだち あそ  
しいお正月の三が日を過ごしました。あのように楽しいお正月は子どもだったためか時代のためか、ある  
いはその両方のためだったかもしれません。

にほん しんねん むか にほん しょうがつ たいけん がくしゅうしゃ おお  
日本で新年を迎えられ、日本のお正月を体験された学習者さんたちも多いことでしょう。それぞれのお  
くに しんねん むか かた にほん に ちが きょうみぶか おも  
国の新年の迎え方もまたそれぞれ、日本と似たところもあり違ったところもありで興味深いことだと思いま  
す。いつか聞かせていただけると嬉しいです。

## ごうかく 合格おめでとうございます！

ことし がつ にほんごのうりよくしけん い か がくしゅうしゃ ごうかく  
今年7月の日本語能力試験 (JLPT) に以下の学習者が合格しました。

きゅう 級	な まえ 名前	くに 国	クラス
N2	センチル・クマール	インド	どよう 土曜B
N4	サファー・ビジャラクミ	インド	もくよう 木曜
N4	サマダル・アルチタ	インド	もくよう 木曜

## さくぶん ほしゅう 作文を募集しています

がくしゅうしゃ みな しえんしゃ みな  
学習者の皆さん、支援者の皆さん、あなたの作文を MIFA ニュースに載せてみませんか？ MIFA ニュー  
スでは皆さんが書いた作文を募集しています。日本語で書くこと、長さは500字から1000字くらい。決まり  
はこれくらいです。何を書かかは、自由に考えてみてください。たとえば、日本の生活や文化、習慣、日本語  
について感じたこと、母国の文化や習慣、お祭りの紹介、日本語学習で工夫していることなど、いろい  
ろ考えられます。MIFA ニュースに自分の作文を載せたいと思ったら、近くにいる広報部 (MIFA ニュースを  
つく ひと  
作っているグループ) の人に MIFA ニュースに作文を載せたいことを伝えるか、メールをください。メール  
の場合は、あなたのクラスと名前も書いてください。広報部から折り返し連絡します。

れんらくさき  
連絡先メールアドレス： mifa\_machida@ybb.ne.jp



## 状 況 表 2022. 11. 25 現在

◆学習者数

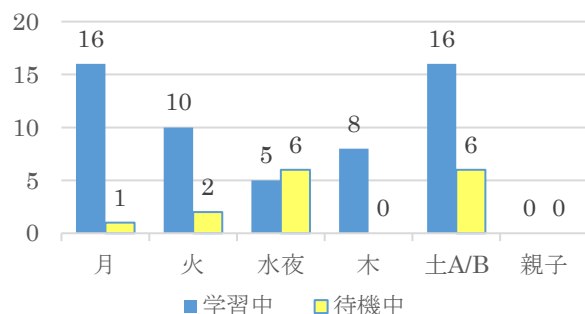
学習中	55
待機	15
合計	70

◆支援者

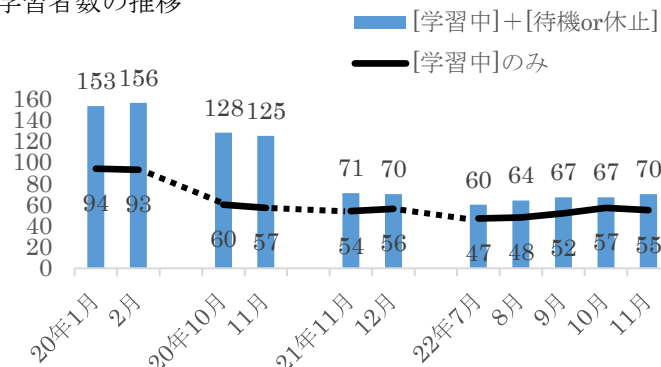
支援中	54
待機 or 休止	46
合計	100

学習中にはリモート学習中の 5 名を含む  
 支援中にはリモート支援中の 5 名を含む

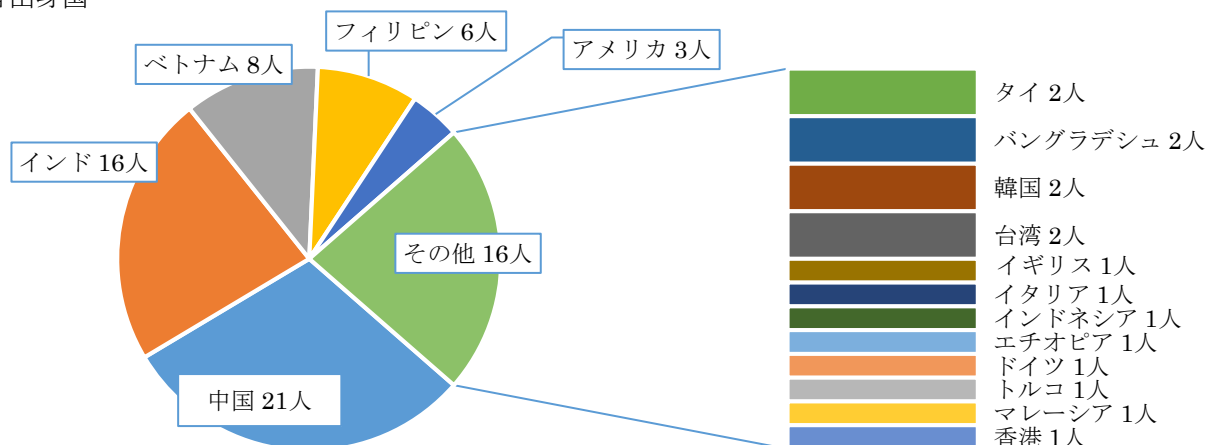
◆クラス別学習者数



◆学習者数の推移



◆学習者出身国



## 役員会便り

毎月第 2 火曜の定例役員会で話し合い、報告された事についてお知らせします。

9 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7 月に教室を再開した際には、感染状況が拡大を見せ始めていましたので非常に心配でした。夏休みをはさんでやや減少傾向にあり少し安心しましたが、くれぐれも予防に留意してください</li> <li>・ 学習者動向に大きな変化はありません</li> <li>・ 学習者募集パンフレットの修正版を 1000 部作成しました(木曜夜→水曜夜、連絡先の変更)</li> <li>・ 11 月から学習費の徴収を再開します</li> <li>・ 2023 年 5 月 27 日(土)午後、MIFA スピーチ大会を開催する予定で会場を予約しました</li> <li>・ MIFA ニュースを 7 月 31 日に発行し、会員は郵送、学習者には教室で配布、HP もアップしました</li> <li>・ 町田ボランティアセンターの教室使用 2022 年度後期申し込みの手続きを完了しました。抽選に落選した時間帯もありますが、おおむね問題なく予約することができました</li> <li>・ HP への学習希望者からの問合せがしばしばあります</li> </ul>
----------	--

10月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町田国際交流センター(MIC)の「日本語学習ボランティア基礎講座」がスタートしました。修了後の支援者受け入れのために説明会に出席する予定です</li> <li>・ 各教室の運営は順調で、学習者数も増加傾向です</li> <li>・ 11月から学習費の徴収を再開することについてコーディネータに連絡済みです</li> <li>・ 友好部主催のイベントは検討中ですが、難しいと思われます</li> </ul>
11月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ感染者数が増加傾向となり第8波かと言われていますので、教室での対策には引き続き慎重を期すようにしてください</li> <li>・ MIC基礎講座受講者6名が月曜、水曜、土曜クラスの見学に来られました。講座修了後の入会が待たれます</li> <li>・ 2023年のMIFA創立30周年記念行事会場として10月28日(土)午後、町田市文化交流センターを予約しました。これから具体的な内容を考えていきますが、会員同士の一体感、MIFAへの帰属を感じられるような催しができたらと思っています</li> <li>・ 10月21日(金)MIC、町田日本語の会、MIFAの三者会議に出席し状況報告、意見交換をしました</li> <li>・ 学習形態は通常対面形式が増加し、リモートは減少傾向です</li> <li>・ 7月に行われたJLPT合格者をカウント中で、各クラスコーディネータからの報告を待っています</li> <li>・ コロナ前は毎年行っていたクラスの茶話会は、残念ですが当面実施予定はありません</li> <li>・ 町田市民フォーラムへの団体登録更新をしました</li> </ul>
12月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ MIC基礎講座が終了しましたので、MIFAへの入会希望者に説明会を開きます</li> <li>・ 学習者のコロナ感染が報告され、その学習者はルールに合わせ1週間の学習中止としましたが、支援者は濃厚接触者ではなく、また教室も通常通りです</li> <li>・ 大学生(学部生、大学院生、留学生)から日本語教室についてのアンケートや聞き取り調査依頼が来るのが最近増えてきました。若い世代の人たちにボランティア活動を知ってもらいたいところではありますが、現在の状況では対応が難しいために残念ながら実現していません</li> </ul>

## 12月～3月の予定

### 12月24日(土)～1月9日(月) MIFA 冬休み

1月17日(火) 13:30～15:30 役員会 せりがや会館 大会議室  
 2月14日(火) 13:30～15:30 役員会 せりがや会館 大会議室  
 3月14日(火) 13:30～15:30 役員会 せりがや会館 大会議室


\*\*\*\*\*

掲載文及び写真の権利はMIFAに属しますので、許可なく転用することをお断りします

[編集委員]

濱田敏裕 池田晴美  
立石滋子 前田昌子

MIFA ニュース No.145 Dec2022, Jan/Feb2023  
 発行日：2022年12月18日  
 問合せ先：濱田敏裕  
 e-mail：mifa\_machida@ybb.ne.jp  
 ホームページ： <http://mifa-machida.info/>

  
 ホームページ